やること：与件を読み(情報を論理的に整理)、イメージを保ち(短期記憶、PCでいうメモリ保存)、
設問情報を整理して、問われたことに答える、80分

NG行為：問われたことに答えない、設問に答えない(空欄)

TM：基準　与件終わりまで15分　各設問理解6分(リミット10分)記述6分
思考が止まるような難問は、すぐに、躊躇なく、飛ばす
少しでも解き進めた設問は、最終的に全問解答するつもりなのだから迷わずに終わらせる
(時間を余らせるつもりではなく)1問ずつ終わらせていき、3分余れば十分くらいのつもりで

(環境)	※環境変化、ビジョン、方針等、**目的**
戦略	※〇〇事業(新事業→新市場、新ドメ、新環境)
組織構造	
組織文化	
人的資源管理	

せ	かん
	にさ
こ	つ
ぶ	
じ	

0　メモ作り　　せこぶじかんにさつ(図あり)
茶化モ権定文　　(使用例：サ×　ハ〇　ホ〇　イ〇　ヒ〇　モ〇　ケ〇　テ〇　ブ〇)

1　与件　　冒頭で業種を確認
与件文の各段落　はじめ　と　おわり　流し読み
最終段落のみ全文
30秒～1分程度でワードを拾うだけ

設問**予想**　　全文を読むが、とりあえずレイヤー層がわかる程度の理解でOK　　**レイヤーが浮かばなくても問題なし、次に進む**
●せ→戦略　　●こ→組織構造　　●ぶ→組織文化　　●じ→人的資源管理
〇情→情報整理　〇効→期待される効果(知識・推測系含む)　**〇助と効→助言及び効果**

2　与件　　SWOT　年代　事例Ｉレイヤー　をマーク

3　設問　　設問(何が問われているのか)を、**情報を整理して**理解し、
答案用紙に書き出しを記入し
知識を連想した場合はメモすること

中心点を意識し、与件の該当情報にマークする(**後半とばしがち**)
少し我慢して、頭の中で、全体像を組み立てる、と**覚悟**
入れるべきワードは答案欄にメモし、メモリ・リスク軽減

4　答案記述　　読めるように！
問われたことに答える「等。」を使いシンプルに答える　(＝自然に得点が上がる、読みやすくなる)
レイヤーをイメージして書きやすい層から(記述の際にレイヤーをイメージすると書きやすい)

●設問理解　　**設問はわざとわかりにくい表現で用意されている　あらかじめ覚悟**

●中心点　　**事例Ｉは与件を拾う際、与件の中心点を意識**
①与件に中心点がない　全体的に情報を整理
②与件に中心点がある　中心点の**前後**の情報を整理
③大体ここらへん

●答案が浮かばない　　与件ではなく、**設問で、**方向性を持つ！
埋まらない　　設問文から、知識、レイヤー等を連想
与件から丁寧に拾い、丁寧に記述する